

平成27年度 鳥取大学第5回経営協議会 議事要旨

日 時 平成28年1月26日(火) 14:57 ~ 16:12
場 所 鳥取大学広報センター スペースC
出席者 魚谷委員、高橋委員、永井委員、長谷川委員、松本委員、宮崎委員、吉岡委員
豊島委員、中島委員、田中委員、細井委員、北野委員、法橋委員、清水病院長
欠席者 平井委員
[陪席者] 山根監事、秦野監事、香川副学長、古塚副学長、矢部副学長、山本副学長、
松見副学長、山口副学長、藤井地域学部長、河合医学部長、田村農学部長

議 題

1. 平成27年人事院勧告対応

香川副学長から資料1に基づき、平成28年1月20日の国会において、平成27年人事院勧告に準拠した改正給与法が成立したが、現時点において、その実施に関し必要事項を定める人事院規則は公表されていないため、人事院規則の公表後、役員会において改正給与法及び人事院規則に準じた本学給与規則の改正案を審議・決定し、次回の経営協議会で報告予定である旨の説明があり、審議の結果承認された。

2. 附属学校教員特別手当の新設

香川副学長から資料2に基づき、現在の附属学校教員に対して教職調整手当を支給しているが、附属学校における勤務実態調査結果によると、1年単位の変形労働時間制では対応できない時間外勤務の実態があり、当該時間外勤務のうち、教員の自主性及び創造性に基づく特殊性を有する業務については、新たに「附属学校教員特別手当」を新設し、教員の処遇改善を図る旨の説明があり、審議の結果承認された。

3. 第3次学内補正予算(案)

香川副学長から資料3に基づき、第3次学内補正予算(案)の概要について、人件費の見込残に伴う支出予算の補正、附属病院収入の増加に伴う収入予算及び支出予算を補正する旨の説明があり、審議の結果承認された。

4. 平成28年度学内予算編成方針（案）

香川副学長から資料4に基づき、第3期中期目標期間の初年度である平成28年度予算編成においては、学長のリーダーシップのもと、大学全体の機能強化及び組織改革の方向性に沿った予算編成を行う旨の説明があり、審議の結果承認された。

報 告

1. 平成28年度運営費交付金予定額の概要

香川副学長から資料5に基づき、平成28年度の文部科学省関係予算、文教関係予算、科学技術予算並びに国立大学法人運営費交付金予算（案）の概要について説明があり、平成28年度鳥取大学運営費交付金予定額については、平成27年度予算額と比較し増額しており、基幹運営費交付金及び授業料免除実施経費が主な増の要因である旨の報告があった。

— 委員からの主な発言 —

◇ 長谷川委員より、当該概要を踏まえての学長の考えについて質問があり、学長より、文部科学省等の働きにより運営費交付金が確保されており、学生への支援について以前より増額されているが、科学研究費補助金は前年と同額であるものの科学技術予算全体としては減額されている点が憂慮されること、また、本学の予算編成については、人件費削減に努め、教育及び研究面で本学が力を伸ばしていくべき点に予算を集中的に投じていくことを主に考えているとの回答があった。

2. 学部・研究科改組計画

細井理事から資料6に基づき、地域学部及び農学部の改組及び持続社会創生科学研究科の改組の概要、現在の文部科学省との事前相談の進捗状況等について報告があった。

— 委員からの主な発言 —

◇ 高橋委員より、改組等の組織改革を行う際に重要となるのが教員に対する教育と考えているとの意見があり、学長及び細井理事より、教員の教育については、教員組織の一元化とあわせて現在検討中であるとの回答があった。

◇ 長谷川委員より、現在の入学定員充足率について質問があり、細井理事より、充足率がどのような原因で変動するかについては、各学部での就職率が原因の一部であると思われるとの回答があった。